



にじ丸ちゃん

かたの 社協だより

ふれあい

第 130 号

[編集と発行]
社会福祉法人

交野市社会福祉協議会

〒576-0034

交野市天野が原町5-5-1

☎ 072-895-1185

FAX 072-895-1192

✉ nijimaru@katano-shakyo.com

ホームページ <http://katano-shakyo.com/>

熊本県

熊本県 菊陽町災害ボランティアセンター運営支援 派遣職員レポート

交野市社協では5月14日～18日まで、社協近畿ブロックの一員として職員1名を菊陽町災害ボランティアセンター支援活動のため派遣しました。その職員から現地の活動を報告します。

現地の社協職員と一緒に災害ボランティアセンターの運営支援として、駆けつけてくれたボランティアの調整・マッチングなどのコーディネートをしました。

また避難行動要支援者として登録されている方のお困りごとがないかなど、聞き取りの訪問に同行しました。道中の落ちた瓦・割れたガラス・崩れた家を見ると心が痛みました。訪問調査の中で、「ボランティアに来てもらって本当に助かった」「震災から1か月経ちようやく自宅に戻ったので、まだ片づけができていない」「余震が続いているので夜眠れない」など、被災された方の声をお聞きしました。現地の社協職員は復興にむけて住民に寄り添った支援活動をされていました。

社協は地域住民が安心・安全に地域で暮らしていけるよう地域・施設・団体・行政等と連携・協働し事業運営をしています。災害時は災害ボランティアセンターの運営だけでなく、避難者の対応・貸付資金の相談・地域コミュニティづくりなど、地域住民が孤立しないよう住民に寄り添った取り組みを進めていく必要があります。日頃から社協の役割や活動を発信し、お互いに助け合える地域づくりを進めていきたいと思えます。

7月17日には交野市地域社会部、交野市消防本部のご協力のもと「熊本地震 実践報告会」を開催しました。多数のご参加ありがとうございました。被災された方々が心から笑顔になれるよう、一日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。



訪問調査活動



菊陽町災害ボランティアセンター

もくじ

- ◆ 熊本県菊陽町災害ボランティアセンター 運営支援 派遣職員レポートP1
- ◆ 29年度の地域福祉事業を支援しますP2
夏のボランティア体験プログラム 参加者募集!
- ◆ 認知症サポーターになりませんか ~認知症サポーター登録制度をはじめます~P3
社会福祉施設地域貢献連絡会 会員施設紹介/
平成28年熊本地震義援金へのご支援
ありがとうございます
- ◆ 平成27年度 社協事業・決算報告P4
- ◆ 地域包括支援センターコーナーP5
交野市市民フォーラム/
平成28年4月から認知症地域支援推進員が
地域包括支援センターに配置されました
- ◆ 保健師だより「ご高齢の方はご注意ください②」結核...P6
- ◆ 運転ボランティア活躍中P7
障がいのある方との交流 in ボランティアサロン/
市民交流フェスタ ~ボランティア in 交野~
- ◆ 涼み処P8
地域貢献連絡会&ボランティアによる福祉教育/善意銀行

29年度の地域福祉事業を支援します

交野地区募金会では、今年も「赤い羽根・歳末たすけあい募金助成金事業」として、地域組織やボランティア団体などが交野市内で展開する地域福祉活動に対して助成します。なお、助成金の原資は平成28年度「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」でいただく募金であり、大阪府共同募金会からの配分を受けた額の範囲となります。

●助成限度額（1団体）

①地域組織団体（行政区）
25万円以内

②ボランティア団体・市民活動団体
10万円以内

●対象事業期間

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

●募集期間

8月1日（月）から
8月31日（水）必着

●申請・問い合わせ

交野地区募金会（社会福祉協議会内）
要綱・申請書類の配付は窓口ならびにホームページ
☎ 895-11185

◆共同募金とは◆

共同募金は、民間の福祉事業や地域福祉を行う住民を応援するために行われる募金です。皆様からお寄せいただいた寄付金は、社会福祉施設・民間福祉団体に配分され、地域福祉活動の推進に幅広く活用されます。ご寄付いただいた皆様の地域で生きる寄付金です。

◆共同募金運動の期間◆

毎年、10月1日から12月31日まで「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに全国一斉に展開されます。

みなさんの善意が
福祉のお役に
立ちます



あいちゃんと希望くん

夏のボランティア 体験プログラム 参加者募集!



この夏、市内の福祉施設でボランティア体験してみませんか。
夏祭りなどのイベントや、施設の利用者の方と一緒に過ごすといった、さまざまなプログラムがあります。この機会に、たくさんの人と出会い、自分の世界を広げてみませんか。

対象

小学生以上の交野市民
ボランティアに関心・興味のある人
※施設によっては活動期間や受け入れ対象が違います。

施設（50音順）

介護老人保健施設 青山
交野自立センター通所部
交野保育園
Cステタッキー

きんもくせいデイサービスセンター
きんもくせい特別養護老人ホーム
くらじワークセンター
サール・ナートかたの
彩の会

生活介護 てらサポート
地域活動支援センター みのり
デイサービスいわふねの森

参加期間

7月1日～8月31日の間で1日～3日活動できる人

※活動期間は施設によって異なります。
事前にボランティアセンターのガイダンスにご出席ください。

申し込み・問い合わせ

8月19日までに 交野市ボランティアセンター
☎ / FAX 894-3737

認知症サポーターになりませんか

認知症サポーター登録制度をはじめます

認知症の人や家族が安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症に関する正しい知識と理解を深めるための「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

今年度より、「若年性認知症介護者意見交換会（はまゆりの会）」や地域活動を支援するために、「認知症サポーターの登録制度」をはじめます。

認知症の人が地域活動に参加できるお手伝いをしていただけませんか。

〈事前説明会〉

とき 10月24日（月）午後2時～4時30分

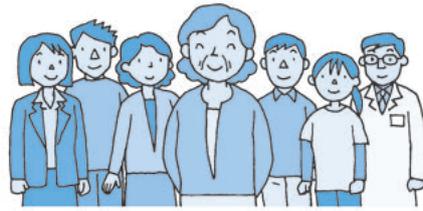
ところ ゆうゆうセンター4階 多目的ホール

対象者 認知症サポーター養成講座受講者

費用 無料

申し込み・問い合わせ

社会福祉協議会 ☎895-1185



社会福祉施設地域貢献連絡会 会員施設紹介

社会福祉法人 美郷会 特別養護老人ホーム 美来

おかげさまで、特養美来は、オープンより10年を迎えることができました。これも、地域の皆様のご協力のおかげだと感謝しております。また、併設の地域密着型サービスとして開設した小規模多機能ホームみらいも社協さんや地域包括、居宅のケアマネさんにご紹介いただき軌道に乗ることができました。

来年4月には、地域密着型小規模特養（29床）と初めての試みである「街かどデイハウス」を開設する予定です。これからも地域と共に身近な施設としてお役にたてればと考えております。

住所
交野市倉治4-40-7
☎810-8670



社会福祉施設地域貢献連絡会の取り組みとして、各会員施設で出前講座を実施しております。詳しくは社協ホームページをご覧ください。

平成28年熊本地震義援金へのご支援ありがとうございます

4月16日に熊本地方を震源とする地震により、各地において人的被害をはじめ、家屋の倒壊等甚大な被害が発生しました。交野市社会福祉協議会では、被災地への義援金の受け付けを行ってきました。多くの方から窓口や街頭募金、市内各事業所に設置している募金箱などを通じてご協力いただきました。

義援金は窓口（9件）824,176円、街頭募金（2日間4か所）130,146円、募金箱（20か所）116,871円、総額1,071,193円集まり、交野地区募金会から大阪府共同募金会を通じて被災地へ送金されます（7月7日現在）。

なお、全国中央共同募金会の義援金受付期間が、平

成29年3月31日まで延長となりました。交野地区募金会におきましても、中央共同募金会と同様、延長することにします。

引き続き、ご協力をお願いいたします。



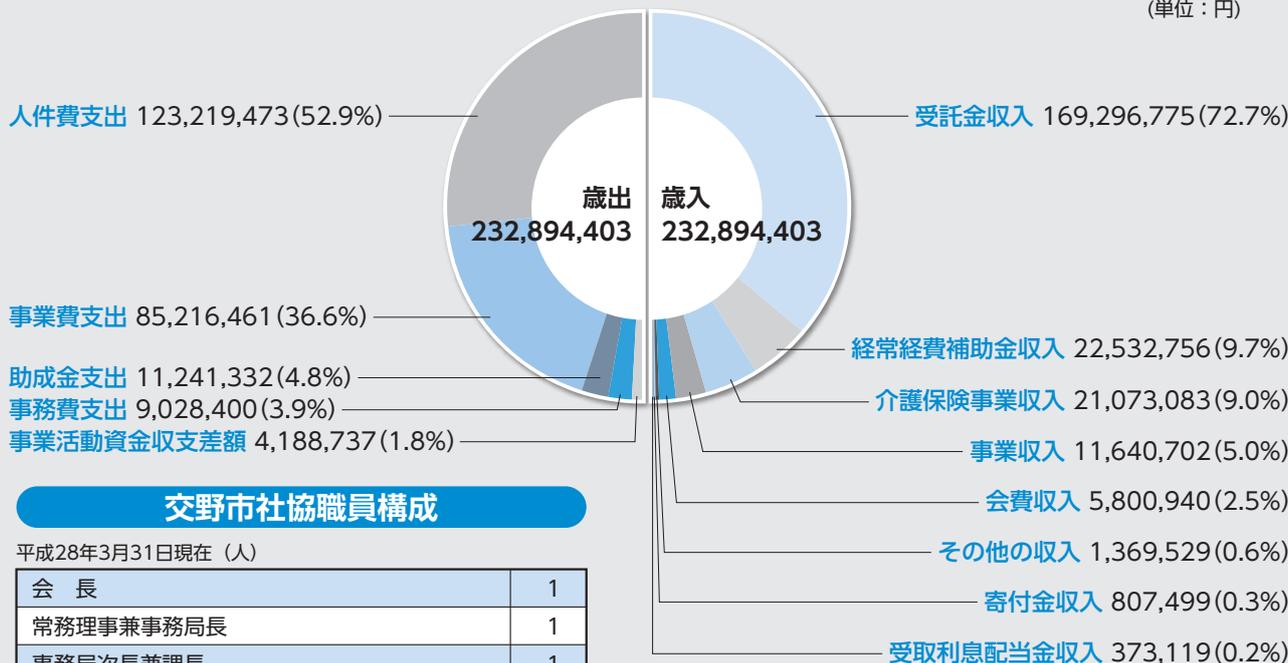
5月30日の理事会・評議員会で、平成27年度事業・決算が承認されました。主な事業について報告します。

平成27年度 社協事業報告

- 生活困窮者自立相談支援事業及び就労準備支援事業を市から受託し、お金や仕事、住居など経済的な困りごとを抱える方が、地域で安心して生活できるよう本人や家族、関係機関などと協力して解決のために取り組み、112人の相談者に対し支援を行いました。
 - 地域懇談会や虹色ネットワーク会議、地域福祉活動計画策定・推進委員会を開催し、関係機関・団体などとともに第3期交野市地域福祉活動計画を策定しました。また、校区福祉委員会が主体となり福祉のまちづくりを推進するための個別計画（アクションプラン）を策定しました。
 - ※虹色ネットワーク会議とは、第2期地域福祉活動計画推進のためのプロジェクトの実践による主体的な計画の推進や第3期地域福祉活動計画における各領域の取り組みについて意見交換を実施した会議。
 - 虹色ネットワーク会議のプロジェクトの一環として、中学校・福祉施設職員・福祉業者などの協働により、福祉教育として中学校生徒169人を対象にアイマスク・車いす介助体験を実施しました。
 - やすらぎ支援員スキルアップ研修会、人権研修会、家族の会講演会を兼ねて映画「徘徊ママリン87歳の夏」の上映及び講座を開催し、171人の参加がありました。
- その他、関係機関・団体・地域などさまざまな方々のご協力のもと、地域福祉に資する事業に取り組みました。

平成27年度 社協決算報告

(単位：円)



交野市社協職員構成

平成28年3月31日現在 (人)

会 長	1	
常務理事兼事務局長	1	
事務局次長兼課長	1	
事務局課長代理	2	
総務・経理係	正規職員	1
	非常勤	2
	アルバイト	2
地域福祉・在宅福祉係	正規職員	5
	非常勤	4
	アルバイト	5
地域包括支援センター	正規職員	5
	非常勤	6
	アルバイト	1
職員総数	36	

決算総額

232,894,403円

交野市 地域包括支援センターコーナー

高齢者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと生活が出来るように支援させていただきます

市民フォーラム

「妻の病ーレビー小体型認知症」映画上映と講演

【とき】 8月27日(土)

午後2時～4時30分(開場午後1時30分)

【ところ】 交野市立保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター) 4階交流ホール

【定員】 500人(入場無料)

(駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関でお越しください)

テーマ 知っていますか？レビー小体型認知症

情報提供

「交野市における認知症総合支援事業について」

映画鑑賞

ヒューマンドキュメンタリー映画 伊勢 真一監督作品

「妻の病ーレビー小体型認知症」(日本語字幕付き)

講演

「レビー小体型認知症について」映画「妻の病」をふまえて」

講師 医療法人長尾会 ながお心療内科 長尾 喜代治先生

共催

交野市医師会／交野市歯科医師会／北河内薬剤師会

交野市地域包括支援センター／エーザイ株式会社／アルフレッサ株式会社

後援 交野市

お問い合わせ先

交野市地域包括支援センター

(ゆうゆうセンター1階 交野市社会福祉協議会内)

☎ 0893-6426



平成28年4月から認知症地域支援推進員が地域包括支援センターに配置されました

認知症地域支援推進員は、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、認知症への理解を深めるための普及・啓発活動、認知症の人や介護者への支援、専門職の支援ネットワークづくりなどの活動を行います。

★認知症について学びませんか★

認知症についての基礎知識や、望ましい対応方法などご希望の内容に合わせて認知症地域支援推進員が無料で出前講座を引き受けます。地域や老人会、企業・団体、各種グループで認知症について勉強したいとお考えの方はぜひご連絡ください。

認知症になってもいきいきと安心して暮らせる町づくりのために、地域で認知症に対する理解を深めていきましよう。

対象

市内在住のおおむね10人以上のグループ

申し込み方法

左記に連絡の上、日程・内容・時間などをご相談ください。

※ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

申し込み・問い合わせ

交野市地域包括支援センター

(ゆうゆうセンター1階 交野市社会福祉協議会内)

☎ 0893-6426



保健師だより ~ご高齢の方は ご注意ください②~

結核 ~新たに発病する人の約5割が70歳以上~

結核は初期症状が、かぜによく似ているため、市販のかぜぐすりなどで治そうとしがちです。受診や診断が遅れると、結核が重症化し治りにくくなったり、周囲の人に感染させる危険が高くなったりします。結核についての正しい知識を持ち、毎日を健康に過ごしましょう。



疑わしい症状は必ず受診を

次のような症状が2週間以上続いたら、結核の疑いがあると考えて、医療機関で検査を受けるようにしましょう。また、高齢者の方は、症状がわかりにくいこともあります。自己判断せずに、早めの受診を心がけましょう。



こんな症状は
要注意

- せきが続く
- 胸が痛かったり、重く感じられる
- 体重が減る
- 37~38℃の熱が続く
- たん・血の混じったたんが出る

結核を発病しやすい状態



過労や不規則な生活などで免疫が弱っている人は、結核に感染・発病しやすいことが知られています。また、特に結核を発病しやすい状態には、次のような状態や病気にかかっていることがあります。

こんな人は
要注意

- 体力が低下している人
- 糖尿病や腎不全などの慢性的な病気をもっている人
- 大きな手術をした人
- 胃潰瘍や胃切除をした人
- 悪性腫瘍のある人
- ステロイド剤や抗がん剤による治療をしている人
- HIV (ヒト免疫不全ウイルス) に感染している人

規則正しい生活と健康管理を

結核の流行を防止するには、予防接種と早期発見が大切です。また、結核の発病を防ぐには免疫力の低下につながる不規則な生活を避け、規則正しい生活と健康管理を心がけるようにしましょう。

- かぜに似た症状が続いたら、早めに医療機関を受診
- 特に65歳以上の方は、1年に1回は胸部エックス線検査を受けよう
- 禁煙しよう
- 結核を発病しやすい状態の人は特に注意を



栄養バランスのとれた食生活を

睡眠をしっかりとろう

適度な運動をしよう



治療をきちんと受ければほとんど治る

現在では結核に有効なくすりが開発され、3~4種類のくすりを6~9か月間服用することで、治療できるようになりました。しかし、服用を途中で止めたり、不規則な服用を続けると、そのくすりが効かなくなる「耐性菌」ができてしまいます。この状態になると、数年間の治療期間や手術が必要になることもあります。結核の治療は、毎日きちんとくすりを服用することがもっとも大切です。

「ありがとう」のことが原動力

運転ボランティア活躍中

社会福祉協議会では、ひとりでも多くの方の外出を応援するために、運転ボランティアを養成しています。平日午前9時30分から午後4時30分までの時間で、それぞれのご都合に応じて活動していただいています。また、社協担当者と定期的に意見交換や情報共有の場を持ち、安心して活動していただけるように心がけています。

【運転ボランティアを募集しています！】

- ① 移送サービスの運転ボランティア（無償活動）として、月2回以上参加いただける方
- ② 70歳以下の普通自動車第一種免許をお持ちの方
- ③ 2日間の運転ボランティア養成講座を受講できる方（受講料は負担いたしません）

退職後の男性が多数活躍されています！

女性の方も大歓迎です！

詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせください。

☎895-1185



この帽子が目印です



障がいのある方との交流 in

ボランティアサロン

誰でも気軽に参加でき、ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流するサロンを、毎月開催しています。

8月は、障がいのある方や、社会参加しにくい方々と交流する活動を中心に紹介します。みんなで一緒に作業をしたり、会話を楽しみながらゲームで交流をしたり、お互いに理解しあいながら助け合う活動があります。当日は、活動中の見学・体験もあります。ぜひお気軽にご参加ください。

とき
8月25日（木）午後1時～3時

ところ
ボランティアセンター2階

内容
障がいのある人との交流や、お手伝いのボランティア活動紹介、活動見学

対象
ボランティア活動に興味のある市民

参加費
無料

申し込み・問い合わせ
交野市ボランティアセンター
(ゆづりセンター敷地内)
☎/FAX 894-3737

市民交流フェスタ

ボランティア in 交野

今年も、ボランティア活動について知り、交流できる「市民交流フェスタ」を開催します。子どもから大人まで、一緒に楽しんで、ちょっとしたためになるような、楽しいイベントや体験コーナーなどが盛りだくさん。おひとりでも、親子でも、お友達同士でも、ぜひご参加ください！

とき
9月3日（土）午後1時～4時

ところ
ゆづりセンター4階 多目的ホール

内容
● ボランティアふれあい体験コーナー
（手話・アイマスク・点字・要約筆記・歌体操・ニュースポーツ・紙すき・国際交流）
● スタンプラリー

参加費 無料

主催
交野市ボランティアグループ連絡会

問い合わせ
交野市ボランティアセンター
☎/FAX 894-3737



開設期間
7月 1日(金)から
9月30日(金)まで

今年も夏の節電対策及び熱中症予防対策として、市内の事業所・福祉施設のご協力を得て、「涼み処」を開設しています。ぜひご利用ください。

その他、交野市役所（本館・別館）・ゆうゆうセンター・青年の家・いきいきランド交野・星の里いわふねの各施設もご利用ください。

【ご注意】

※施設・店舗のご厚意により場所を提供していただいております。
施設および施設利用者の方のご迷惑にならないようご注意ください。
※利用中の事故等については、利用者の自己責任となります。ご了承ください。

このマークが
目印です



地域貢献連絡会 & ボランティアによる福祉教育

7月6日、第一中学校において、人権教育の一環として「車いす・アイマスク体験」の講座を開催しました。

講座開催にあたり、地域貢献連絡会会員施設である「特別養護老人ホーム明星」「介護老人保健施設青山」「介護老人福祉施設サール・ナートかた

の」の職員の皆様、また「朗読グループ『あい』」ならびに「外出介助『かざぐるま』」のボランティアの皆様、総勢14名のご協力を頂きました。

生徒さんからは、「今日の体験を生活の中に活かしていきたいです」とお礼のあいさつがありました。



アイマスク体験「介助者は半歩前に」

車いす体験「段差があるときは声かけを」

総勢14名の講師とサポーターのみなさん

善意銀行

交野市社会福祉協議会の善意銀行に、次の方から預託していただきました。この善意に厚くお礼申し上げます。

4月1日～6月30日

4月	NISI歌謡教室から 歌謡オンステージ収益金一部とチャリティー募金 有限会社コバシ産業から	24,820円 ライスクッキー 20箱
5月	コール・ポコから (株) 栄 くずはガスリビングから	10,000円 7,600円
6月	(株) ビューティサロン モリワキから モリワキ祭りの収益金として (株) 栄 くずはガスリビングから 南星台の平 卓さんから	100,000円 7,800円 紙おむつ 4箱